

福島第二原子力発電所2号機 原子炉内構造物の点検の完了について

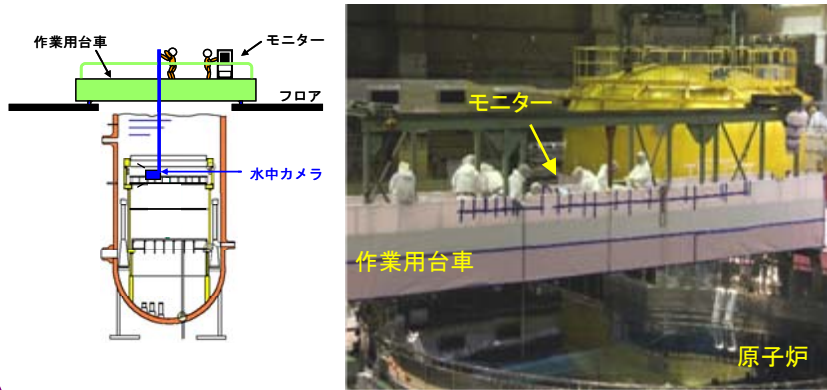
【参考資料】
平成25年12月19日
東京電力株式会社

当所2号機は、東北地方太平洋沖地震等による影響に関する知見の拡充を目的とした原子炉内構造物の目視点検を、11月21日より実施していましたが、12月18日にすべての点検対象機器について、点検が完了しました。
点検した結果、対象の原子炉内構造物に異常はありませんでした。

●点検対象機器および点検結果（写真）

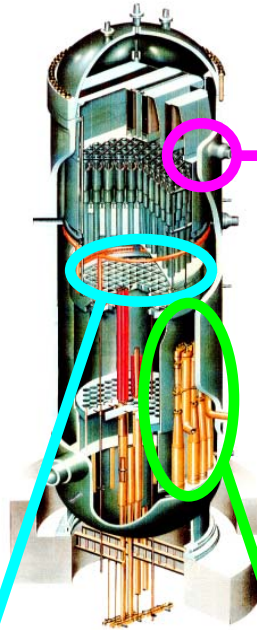
【点検方法】

原子炉の上部にある作業用台車上から、原子炉内等にある点検対象物まで水中カメラを吊り下げ、台車上でモニターに写る映像を目視で確認しました。また、撮影した映像については、事務所においても再確認しました。



【点検作業のイメージ】

作業用台車上での点検作業の様子
(平成25年12月13日撮影)



【原子炉圧力容器】

○蒸気乾燥器耐震用ブロック (4箇所)

ステンレス鋼の凹型を逆さまにしたような部材で、蒸気乾燥器側面中央部に溶接され、蒸気乾燥器支持ブラケットの上に凹部をはめ込み、蒸気乾燥器を支持するためのもの。



蒸気乾燥器耐震用ブロック
(平成25年11月21日撮影)

○蒸気乾燥器支持ブラケット (4箇所)

ステンレス鋼の板で、原子炉圧力容器内壁に溶接され、蒸気乾燥器を支持するもの。



蒸気乾燥器支持ブラケット
(平成25年11月21日撮影)

○上部格子板グリッドプレート (4箇所)

ステンレス鋼の板状のはりを互いに直角に格子状に組み合わせたもので、炉心シュラウド上部にボルトで固定し燃料集合体の横方向の支持と案内の役目をするもの。

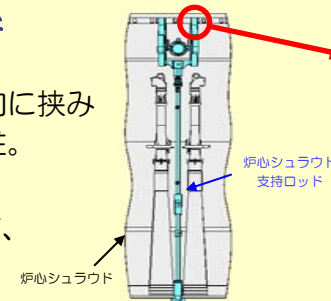


上部格子板グリッドプレート
(平成25年11月27日撮影)

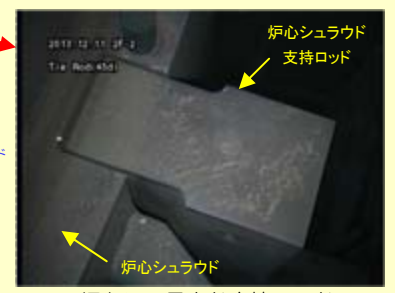
○炉心シュラウド支持ロッド (4箇所)

炉心シュラウドを上下方向に挟み込み、締付け固定する支柱。

※炉心シュラウド支持ロッドは応力腐食割れ対策として、2・3号機に設置。



【全体図】



炉心シュラウド支持ロッド
(平成25年12月11日撮影)